

DVR BUILT-IN CAMERA 取扱説明書

NS-30VSDR NS-31SDR



NS-30VSDR



NS-31SDR

SDカードをカメラに再挿入する場合は、必ずPC上でフォーマットをしてからご使用下さい
また、SDカードの抜き差しは必ず電源をお切りになったうえで行ってください

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

ご使用前に、『安全上のご注意』を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。

保証書は、『お買い上げ日・販売店』などの記入を必ずお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。

安全に正しくご使用いただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。






お読みになったあとは、保証書と取扱書を一緒にいつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。

2010.12.12



安全上のご注意

ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使い頂き、使用する方への危害や損害を未然に防止する為のものです。安全に関する重大な内容なので、必ず守ってください。

	警告	誤った扱いをしたときに、人が死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きい内容		
	注意	誤った扱いをしたときに、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容		
	絶対にしないでください。		警告・注意	 必ず、従ってください。

 警告	
	 発火や引火の可能性のある場所には設置しないでください。ガスなどの充満した場所に設置すると火災の原因となります。
	 カメラの分解、改造は絶対に行わないでください。発熱して火災の原因となる場合があります。内部点検・調整・修理は販売元にご依頼ください。
	 濡れた手でカメラを触らないでください。感電の原因となることがあります。
	 埃や湿気の多い場所、雨や雪が直接当たるところには設置しないでください。火災や感電の原因となります。
	 機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用、および天井水漏れにご注意ください。
	雷が鳴りましたら、同軸ケーブルや電源ケーブル等に触れないでください。感電の原因となります。
 注意	
	本機を他の機器と接続する場合には、接続する機器の取扱い説明書をお読みになり悪影響が無い事を確認してください。
	周囲温度が45℃以上、また-5℃以下の場所では使用しないでください。画質低下や故障の原因となります。
	指定された電源以外では使用しないでください。火災や感電の原因となります。

目次

1 はじめに	4
必ずお読みください	4
免責事項	4
最重要事項	4
2 仕様	6
3 内容物	7
4 各部の働き-本体	8
5 各部の働き-リモコン	9
6 使用方法	10
7. メニュー画面の説明	11
7-1 メインメニュー	12
7-2 システム設定	12
7-3 ビデオ設定	13
7-4 音声録音	14
7-5 イベントセットアップ	15
7-6 サブメニュー	17
8. 検索再生	19
9 録画時間目安表	22
故障かなと思ったら	23
製品保証書	24

1. はじめに

必ずお読みください

SD内蔵型カメラ『NS-30VSDR』『NS-31SDR』は、配線工事が難しく、工事代が膨らみ、設置や導入が見送られてきた場所への導入を提案、推進できる画期的な防犯カメラですが、毎日、モニター監視をしている方がいないため、日ごろの機器メンテナンスが大変重要なカメラともいえます。

本製品で録画した映像は、場合によっては被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はご注意ください。撮影した映像に関するプライバシートラブルなどに関しまして弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承下さいませ。

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次に説明します。

1. 正規の電源を使用してください。指定された電圧を越えるもの(DC12V)を供給する電源にこの製品を接続すると製品に損傷を与えます。
2. SDカード差込口(スロット)に金属などの異物を差し込むと感電する場合があります。
3. 濡れたままでまたは埃をかぶった状態で使用しないでください。製品は清潔で、乾燥している場所でお使いください。
4. 本製品は防水仕様ではありません。屋外では防塵性の高い防水ハウジングに入れてお使いください。万一水がかかった場合は、すぐにコンセントを抜いて販売店にご連絡ください。
5. 本製品の外部のケースを清掃するには、軽く湿らせられた布を使用してください。溶剤は厳禁です。
6. 製品が作動しない場合は故障も考えられます。異常な音やにおいをする場合は直ちにコンセントからプラグを抜いて販売店にご連絡してください。
7. トップカバーをはずして使わないでください。
8. 警告:トップカバーをはずすと電氣的異常をきたす恐れがあります。
9. 製品は精密機械なので、強く落下したり、ぶついたりして破損しないよう注意深く扱ってください。
10. 万一、通常の使い方での故障した場合は、直ちに使用を中止し、修理または交換のため販売店にご連絡ください。

免責事項

- 本製品で録画した映像は、個人として利用するほかは、著作権法上権利者に無断で利用できませんのでご注意ください。
- 雷、津波、地震、その他自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、または弊社または弊社が許可した者以外が

分解や改造した場合、または腐食や錆などによる外観の劣化の場合、原則として有償での修理とさせていただきます。

- 別売りのSDカードなど消耗品に関しましてのトラブルは、弊社は一切の責任を負いません。本製品の保証は、本書記載の内容をお守り頂かなかった場合、適用対象になりません。

最重要事項

設置時やSDカメラの取扱いについて

1. SDカードは必ずフォーマットしたものを使用してください。他のファイルが残ったものを使用されるとフリーズや読み込みエラーなどの原因になります。またSANDISK社TRANSCEND製CLASS6タイプのもをお勧めしております。（他のメーカーのものでは十分な試験が行われておりませんので互換性や不相性の問題がございます）。また、MICRO SDカードは対応しておりません。
2. SDカードは静電気に弱く、電源が入った状態でのカードの抜き差しはデータが破損する場合があります。また製品寿命もございますので、メンテナンスなど定期的にSDカードを交換されることをお勧めしております。
3. SDカードを取り出すときは録画ボタンを3秒以上押し続けて録画を中止してから取り出してください。録画中に取り出すと最後の録画ファイルは破壊され、SDカードの破損にもつながります。また、録画中に電源を切ると最後の録画ファイルが破壊します。録画中止してから電源を切ることをお勧めします。
4. SDカメラは設置時にメンテナンスや再起動を行えるよう映像出力(BNC)や電源接続部(DCジャック)を管理しやすい場所に収納して設置してください。
5. SDカメラ本体にあるリモコン受光部は家庭内でご使用になられる「エアコン」「テレビ」など一般的な周波数帯と合致する可能性があります。屋内設置される際は受光部にシールを貼るなど後日、誤作動を引き起こさないよう留意なさってご使用ください。
6. SDカメラは熱や湿気に弱く、電磁波などの影響を特に受けやすい精密機器であるとわかっております。屋外設置される場合は特に高温にならないよう配慮工夫して設置いただくことをおすすめします。
7. 製品を長い間使わないで放置していると内蔵のRTC用バッテリーが放電して製品が起動しないことがあります。1時間以上充電してください。（バッテリーはタイムジェネレーター駆動用です）
8. 内蔵のタイムジェネレーターの精度は電波時計のように正確ではありません。25℃環境下で最高±12分以下/年の誤差が出ます。（使用環境温度が大きくぶれるところ-20℃～70℃では最高±60分以下/年）したがって時々設定を合わせることをお勧めします。

2. 仕様

製品仕様

	品番	NS-30VSDR	NS-31SDR	
カメラ	イメージセンサー	1/3" SONY SUPER HAD COLOR CCD		
	有効画素数	41万画素		
	同期方式	内部同期方式		
	映像出力信号	1.0Vp-p 75Ω BNC-J		
	水平解像度	530TV以上		
	S/N比	50dB以上 (AGCoff)		
	最低被写体照度	0.3Lux (F=1.2)	0.002Lux (電子感度アップ×128) 通常0.3Lux	
	ホワイトバランス	AUTO		
	電子シャッター	「1/60~1/100,000秒 Auto」		
	フリッカーレス	ON/OFF		
	AGC	ON/OFF		
	逆光補正	ON/OFF		
	レンズ	2.6-6.0mmDCオートアイリスレンズ	別売	
	レンズマウント	-	CSマウント	
	電源	DC12V		
	消費電力	250mA	280mA	
	動作温度	-20°C~60°C		
	動作湿度	30~90%RH		
	音声マイク	あり		
	アラーム入力	-	あり	
録画部分	圧縮方式	H.264		
	OS	RTOS		
	解像度	(4CIF) 704 × 480 (2CIF) 704 × 240 (CIF) 352 × 240		
	フレームレート	30, 15, 10, 6, 3, 1 fps		
	録画モード	緊急録画/スケジュール録画/アラーム録画/モーション録画		
	録画画質	方式	High	Normal
		4CIF	1500Kbps	1000Kbps
		2CIF	1200Kbps	800Kbps
	プレ・レコーディング	CIF	1000Kbps	600Kbps
		Low	300Kbps	
	プレ・レコーディング	10秒以下(設定)		
	ファイルシステム	FAT32 (推奨) FAT16		
	記憶装置	SD・SDHCカード		
	モニタリング環境	クライアントトウェア		
	コネクション	1クライアント/ライブモニター		
入出力端子	1Port(BNC or RCA)			
SDスロット	1			
最大録画ファイル数	2,000 ファイル			
オーディオ	圧縮方式	16bit PCM, 8KHz		
	音声入力	1 Ch. モノラル		
	インピーダンス入力	4.7KΩ 以下		
	最大信号入力	6 mVp-p @600ohm		
	音声出力	1 Ch. モノラル		
	最大信号出力	13mW@RL =16Ω		
検索	検索方法	時間/イベント		
	操作方法	ライブ/再生/メニュー		

3. 内容物

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。

	NS-30VSDR	NS-31SDR
カメラ本体		
リモコン		
ビューアソフト		
電源アダプター		
取扱説明書		
その他	 固定用レンチ	 電源入力端子・アラーム入力端子

オプション(別売)



SDカード



SDカード・取付金具・レンズ

4. 各部の働き-本体

スタンダードタイプ (NS-31SDR)



NS-31SDR カメラへの電源入力



電源アダプターの端子先端を切り落とし、皮むきして+-間違えないようにカメラ側の緑色の端子に接続してください。

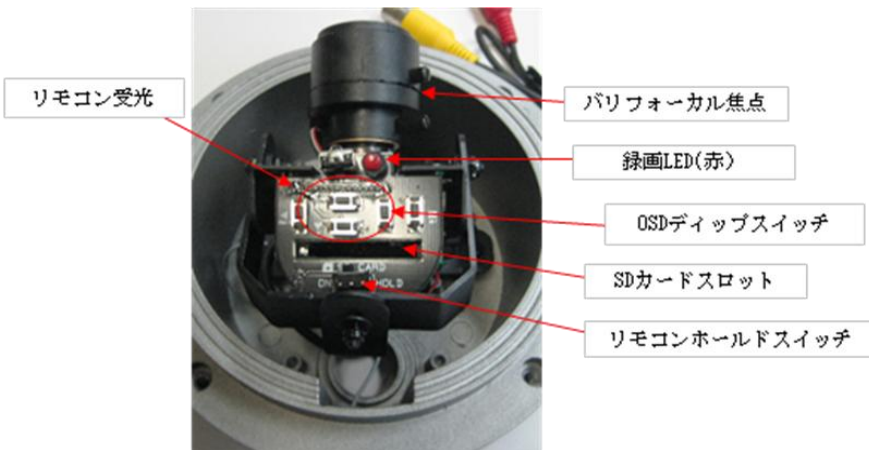
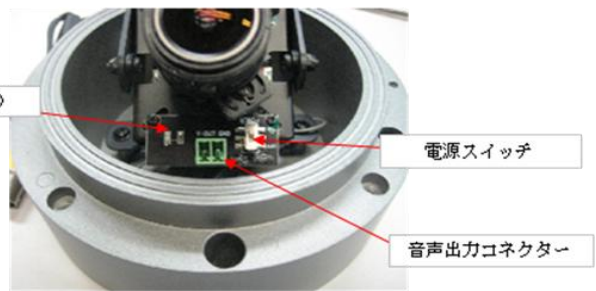
カメラ側は背面に向かって 右が+ 左が-



アダプターは印刷してある電線が+ 無垢の電線が- です。



ドームカメラ タイプ (NS-30VSDR)



音声マイク (ドームカメラは防水機構になっていますが、側面から配線を出すときにはマイクは使用できません。)

5. 各部の働き-リモコン



1		REC	録画スタート/ストップ 録画をストップさせる場合 3秒の間RECボタンを押すと、録画が停止します(Eマークが消える) (レコーディングは、20秒後に再開します)
2		MENU	押すとMENUを表示します。 押すと前のMENUに戻ります
3		UP/ DOWN	スクリーン上でメニューを選びます。 検索モードで、前または次に録画されたファイルを選びます
4		LEFT/ RIGHT	REW ; 巻き戻し (×2、×4、×8、×16) FF ; 早送り (×2、×4、×8、×16)
5		REW	REW ; 巻き戻し (×2、×4、×8、×16)
6		FF	FF ; 早送り (×2、×4、×8、×16)
7		PLAY	再生
8		STOP	録画・再生の停止。再生モードのとき最初の画面に戻ります。
9		PAUSE	再生停止
10		MUTE	音声を消します
11		ENT	再生モードのとき×1で再生 スクリーンモードのとき検索メニューの最初を示します。
12		SEARCH	検索メニュー 検索メニューのとき検索メニューの最初に戻ります
13		MODE	再生モードとライブモードを切り替えます

ライブ映像と再生映像のリモコン機能

機能	ライブ		再生		メニュー	印
	スタンバイ	レコーディング	スタンバイ	再生		
録画	○	○	×	×	×	○: できる X: できない
メニュー	○	×	○	○	○	
検索	○	×	○	○	×	
モード	○	×	○	○	○	
UP	×	×	○	○	○	
DOWN	×	×	○	○	○	
巻き戻し	×	×	×	○	○	
早送り	×	×	×	○	○	
ENTER	×	×	○	○	○	
巻き戻し	×	×	×	○	○	
早送り	×	×	×	○	○	
再生	×	×	○	○	○	
停止	×	×	×	○	×	
ポーズ	×	×	×	○	×	
消音	×	×	×	○	×	

6. 使用方法

セットアップの手順

下記は作動方法の手順です(詳細な説明は、第5章 - ハードウェアインストール参照)

- (1)SDカードをカメラ本体に挿入してください。
- (2)本体をモニターに接続し、映像を確認してください。
- (3)電源をつないで通電させてください。
- (4)リモコンで設定内容を最終確認したうえで録画を開始してください。
- (5)モニタリングとレコーディングを始めます。

一般的な操作方法

- 電源が入り、SDカードが挿入され、1台のカメラがきちんとつながれていることを確認してください。
 - SDカードはフォーマットされているものをお使いください。メモリーを初期化すると、メモリーの中に保存していた映像物や写真などのデータは全て消去されますので、慎重に行ってください。
- パソコンでフォーマットする場合はファイルシステムのFAT32でフォーマットしてからご使用になってください。
- 録画された画像は、「付属ビューア(別途インストール)」でパソコン上でご覧になれます。

●SDカメラは、記録フレーム数を選ぶことができます。(最大率:30コマ)。

より多いフレーム数は、より自然の画像となります。しかし、多くのSDメモリー容量を消費するので目的にあわせて最適なフレーム数を選択してお使いください。

●カメラを通电させると通常接続されると初期状態のビューモードになります。この状態では録画や録音はしていません。

●レコーディングするためには録画ボタンを押すか、イベント録画設定(アラーム録画・モーション録画)をしてください。

●電源を切るか停電したとき、再度電源が供給されれば自動的に録画モードに復旧します。

●録画中([R] マーク、 [M] マーク)はメニューモードまたは検索モードに入れませんのでいったん録画をOFFにしてからメニューまたは検索に入ってください。

●リモコンや本体の周りにパソコンなどの電子機器があるとリモコン操作の誤作動を発生することがありますので注意してください

7. メニュー画面の説明

MENU メニュー画面の出し方(操作は全て付属のリモコンで行ってください)。



メニュー画面を出すには【MENU】ボタンを押してください。

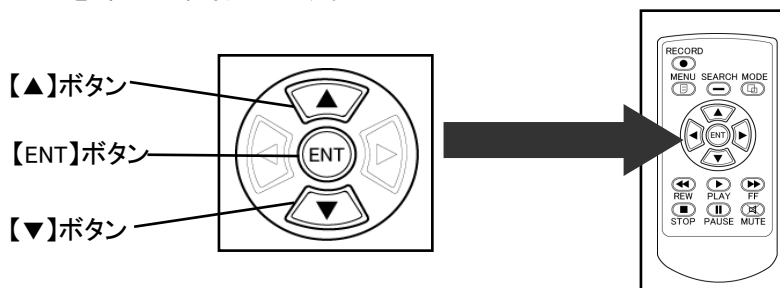
上図のような画面が出ますので、パスワードを4桁入力します。

工場出荷時はパスワードが[0,0,0,0]になっておりますので、そのまま【ENT】ボタンを4回押します。

[0]以外の数値を入力する場合は、【▲ / ▼】ボタンで数値を変更し、設定したい数字が出たら【ENT】ボタンを押します。カーソルが次の桁に移動し同じく【▲ / ▼】ボタンで数値を設定し【ENT】ボタンを押してください。

※録画中は[メニュー画面]は出せません。一旦録画を止めてから行ってください。

録画を止めるには【RECORD】ボタンを3秒以上長押しします。



7-1 メインメニュー

メインメニューでは、リモコンの【▲ / ▼】ボタンで設定したい項目までカーソルを移動させます。設定したい項目が決まったら【ENT】ボタンを押してください。画面は選択した項目に移動します。

(下図の例ではカーソルは“システムセットアップ”を選択しています。)



7-2 システム設定



現在の日時と時刻を設定します。

2010/07/22 年/月/日 14:14:00 時間/分/秒

●タイムセット → ONスクリーン上に時間を表示する。

ご注意: 内蔵のタイムジェネレーターの精度は電波時計のように正確ではありません。25℃環境下で最高±12分以下/年の誤差が出ます。(使用環境温度が大きくぶれるところ-20℃～70℃では最高±60分以下/年)

●時間補正方法 → まず、システムセットアップの画面のタイムセット設定を押して、現在時刻を表示し、正確な時刻に修正します。(*「時間補正」入力の前に必ず実施してください)

次に時刻の補正は「時間補正」のところに 4)で測定した補正值(「/日」、「/週」、「/月」あたり何秒進むかまたは遅れるか)を入力します。

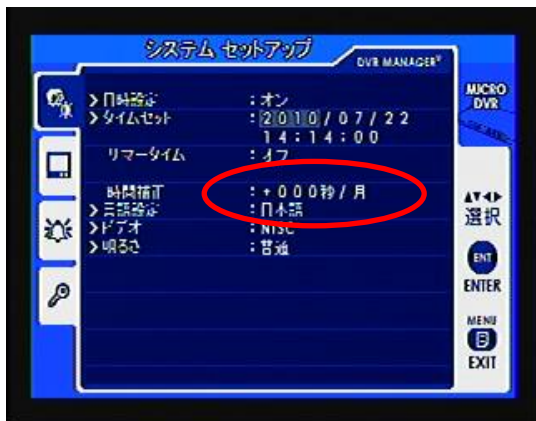
たとえば、2010年7月22日14時14分00秒に時計を合わせたとします。

その24時間後、7月23日14時14分00秒に10秒遅れていたとすれば、「時間補正」に

+010秒/日 と入力します。(進んでいけば -010秒/日)

すると、毎日14時14分の録画ファイルが終わった時点で10秒だけ補正します。

「/週」で補正すると毎1週間後の14時14分の録画ファイルが終わった時点で、「/月」で補正すると毎1ヶ月後の14時14分の録画ファイルが終わった時点で補正が入ります。



注)正確を期すためには、実際には24時間後ではなく、3日後、7日後などに計測して、各々誤差値を3で割った数値(±秒)、7で割った数値(±秒)を「/日」として入力するほうが誤差が少なく、時間差も少ないと思われます。

●サマータイム → サマータイム(一定の期間中、時計の針を1時間進める)を実施しない地域でご使用の場合は必ず“オフ”に設定してください。

“オン”に設定すると指定した期間だけ1時間進んだ時間表示をしてしまいます

●言語設定 → 英語、フランス語、オランダ語、ドイツ語、スペイン語、日本語

●映像出力 NTSC選択。

●明るさ: → 最低、標準、最高の間で明るさ値を選んでください。

7-3 ビデオ設定



ビデオ解像度

録画解像度を4CIF、2CIF、CIFの中から決めることができます。

ライブ映像時解像度

	高 い	普 通	低 い
4CIF	704x480 / 30fps	704x480 / 30fps	704x480 / 30fps
2CIF	704x240 / 30fps	704x240 / 30fps	704x240 / 30fps
CIF	352x240 / 30fps	352x240 / 30fps	352x240 / 30fps

再生時解像度

	高 い	普 通	低 い
4CIF	704x480	704x480	704x480
2CIF	704x480	704x480	704x480
CIF	704x480	704x480	704x480

画質：(高い／普通／低い)

録画画質を(高い／普通／低い)の中から決めることができます。

カーソルを“LEVEL”に合わせ【ENT】で項目決定 → 【◀ / ▶】ボタンで画質変更 → 【ENT】で決定

モード	高 い	普 通	低 い
解像度 (4CIF)	1500kbps	1000kbps	500kbps
解像度 (2CIF)	1200kbps	800kbps	400kbps
解像度 (CIF)	1000kbps	600kbps	300kbps

フレーム数:(NTSC:0.1~30)

カーソルを【▼】ボタンで“FRAMERATE”に合わせ【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで設定変更
(下記の様に数値が順還又は逆順します。)→ 【ENT】で決定

1fps →3fps →6fps →10fps→15fps →30fps

プレコーディング時間:(フレーム数により違います。)

モード	高 い		普 通		低 い	
	ビット数 (kbps)	プレコーディング時間	ビット数 (kbps)	プレコーディング時間	ビット数 (kbps)	プレコーディング時間
4CIF	1500	10sec	1000	20 sec	500	30 sec
2CIF	1200	15 sec	800	25 sec	400	35 sec
CIF	1000	20 sec	600	30 sec	300	40 sec

ポストレコーディング時間：(5秒～30分)

イベント反応時(ALARM: アラーム、MOTION: モーション)の録画時間設定を行います。
(EVENT MODE: イベントセットアップをオンにしておく必要があります))

◆ポストレコーディング時間◆

カーソルを【▼】ボタンで“ポストレコーディング時間”に合わせ【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで時間変更
(下記の様に数値が順還又は逆順します。)→【ENT】で決定

05sec～59sec: 5秒～59秒 → 01min～30min: 1分～30分

※解像度/画質/フレーム数によってポストレコーディング時間の最小値は異なります

7-4 音声録音

音声録音機能→ オン/オフ

データの上書き:::(オン/オフ)

メインメニュー/ビデオセットアップ を選択 (メインメニューの出し方は、“P8 メインメニュー” を参照)

カーソルを“上書き”に合わせ【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンでオン/オフ設定→【ENT】で決定

“オン” にすると、SDカードの容量がいっぱいになった時点で録画された古いデータから上書きされ続けます。
“オフ” にすると、SDカードの容量がいっぱいになった時点で録画を停止します。

7-5 イベントセットアップ



【▲/▼、◀/▶】ボタンで移動、選択
【ENT】ボタンで決定、次項目へ、
【MENU】ボタンで前画面に戻ります

アラームセットアップ

メインメニュー内のイベントセットアップよりアラームセットアップを選択 (メインメニューの出し方は、“P8 メインメニュー” を参照)

カーソルの【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで設定変更→【ENT】で決定

- アラーム入力 : (On/ Off)アラーム入力を使用する場合は“オン”にします。
- インプットタイプ : “NO” か “NC” を選択してください。

NC: NORMAL CLOSE (ノーマルクローズ)

(接続しているセンサーケーブルラインをカットすればアラーム録画は自動的に開始します。)

NO: NORMAL OPEN (ノーマルオープン)

(接続しているセンサーケーブルラインをカットしてもアラーム録画は自動的に開始しません。)

● アラーム出力: (オン/ オフ) アラーム出力する場合は“オン”にします。

● 出力タイプ: “NO”か“NC”を選択してください。

NC: NORMAL CLOSE (ノーマルクローズ)

(接続しているセンサーケーブルラインをカットすれば警報は発報します。)

NO: NORMAL OPEN (ノーマルオープン)

(接続しているセンサーケーブルラインをカットしても警報は発報しません)

モーション

モーションを選択

カーソルを【▼】ボタンで各項目に移動 → 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンで設定変更 → 【ENT】で決定

● モーション、動体検知設定: (オン/ オフ) 動体検知を使用する場合は“オン”にします。

● 感度: (高い / 普通 / 低い) 動体検知の感度を設定します。

(高い: 小さな動きでも反応します。 / 普通: 標準 / 低い: 普通より感度が少し鈍くなります)

● 動体検知マーク: (オン/ オフ) 通常が面に動体検知マークを表示するには“オン”にします

スケジュールセットアップ

[録画する時間帯を4つまで設定できます。]

メインメニュー/イベントセットアップ/スケジュールセットアップを選択 (メインメニューの出し方は、“P8 メインメニュー”を参照)

カーソルを【▼】ボタンで“スケジュールセットアップ”に合わせ 【ENT】で決定

→ オフから曜日設定に変える場合は【ENT】を押し、カーソルで“オフ”だけを囲む(上記図 2参照)

→ 【▲ / ▼】ボタンで曜日を設定します。→ 【ENT】で決定 → 【◀ / ▶】ボタンでカーソル移動

→ 【ENT】で決定、又は【◀ / ▶】ボタンでカーソル移動 → 同じように最後まで設定

→ 【ENT】を押し、カーソルが横一列選択したら 【▲ / ▼】ボタンでカーソルを上下に移動できます。



(カーソルが横一列選択した図) (図3)

【手動で録画をするには】

手動で録画をするにはリモコンの【RECORD】ボタンを押してください。(画面右下に **E** マークを表示)
手動録画を終了するには、再度【RECORD】ボタンを押してください。 **E** マークが消えたら録画は停止
です。

【MOTION録画を一時止めるには】

MOTION録画(画面右下に **M** マークを表示)を一時止めるには、再度【RECORD】ボタンを押して、 **E**
マークを一旦表示してから、再度【RECORD】ボタンを押し、画面右下より **E** マーク、 **M** マーク両方
を消してください。 **E** マーク、 **M** マーク共消えたら録画は停止です。

【スケジュール録画を一時止めるには】

スケジュール録画(画面右下に **T** マークを表示)を一時止めるには、VIDEO INケーブルを本体から引き抜い
てください。

7-6 サブメニュー



【▲/▼、◀/▶】ボタンで移動、選択
【ENT】ボタンで決定、次項目へ、
【MENU】ボタンで前画面に戻ります

パスワード変更

リモコンの【▲ / ▼】ボタンでカーソルを移動 → 【ENT】で項目決定の操作を使用して
【ENT】で決定 → “PASSWORD CHANGE パスワード変更” の画面が出ます

工場出荷時・パスワードは “0 0 0 0” です(【ENT】を4回押す)


〔パスワードを変更するには〕

現在パスワード (現在のパスワード) : 工場出荷時は “0 0 0 0”
新規パスワード (新しいパスワード) : X X X X
パスワード確認 (新しいパスワード 確認) : X X X X

【ENT】を押すとカーソルが“現在パスワード”（現在のパスワード）に移動します。

‘0’以外の数値を入力する場合は、【▲ / ▼】ボタンで数値を変えて、設定したい数字が出たら【ENT】ボタンを押します。カーソルが次の桁に移動し同じく【▲ / ▼】ボタンで数値を設定し【ENT】ボタンを押してください。全部入力を済ませると“パスワード変更”の画面”にもどります。操作は完了です

インデックス再作成

録画中のモニター画面にマークが表示された場合、インデックスの再作成を行うことができます。

SDカードの記録容量残：

現設定でのSDカードの空き容量を示します。








ライブスクリーンモード



メッセージ

メッセージ	説明
初期化中	MICRO Dが最初に認識されました
お待ちください	再生とライブを交換、またはスクリーンとOSDを交換して待機中のとき
ファイルが見つかりません	記録されたファイルが検索モードで見つからないとき
SDカードエラー	SDカードが破壊したか記録が破壊したかの表示
信号なし	ビデオ信号が入力されてません
SDカードロック	SDカードがロックされているか不良です。
SDカードを挿入してください	SDカードが挿入されてません
SDカードがいっぱいです	OVER WRITE OFFのときSDカードが満杯になったら記録できません

スクリーンアイコン

	EMERGENCY	録画中(手動録画)
	MOTION	モーション録画中
	ALARM	アラーム録画中
	TIME	スケジュール録画中
	FULL	SDカードの容量が5%以下になったとき OSD設定でメモリー警告がOFFの時はこのアイコンは表示されません。
	SYNC	インデックスファイルとSDファイルが同期しないとき表示されます。 (P16サブメニューにて、インデックスの再作成を行ってください。)
	SEARCH	検索再生のとき

録画の表示は最初に赤い色で現れて、それから白に変わります



赤い指標: レコーディングは処理中で、レコーディングを止めてもファイルは保存されません。(データは、ファイルを作るのに十分ではありません)

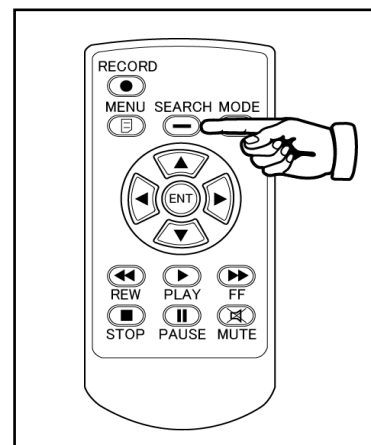


白い指標: 白い指標が示されると、レコーディングを止めても、ファイルは記録されています。

8 SEARCH 検索再生

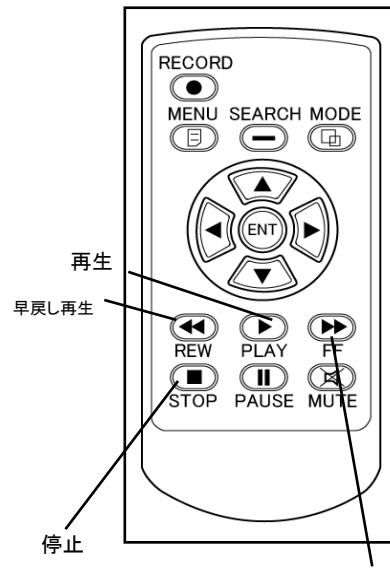


録画を停止した後『SEARCH』ボタンを押すと、ログインウィンドウが現れます。ENTERボタンで、4桁パスワードを入力してください。





『SEARCH』ボタンを押した後に、『リスト』をクリックしてください。検索結果がリストで表示されます。



早送り再生

検索方法

録画の検索は“(イベント)”、“(時間)”、“(両方:時間&イベント)”、“(指定なし)”の4つの検索の仕方があります。

検索した映像を再生するには、【PLAY】ボタンを押してください。

すると再生が始まり画面左上に“FWD”マークが数秒表示されます。

〔検索 早送り再生〕

【▶▶】ボタンを押すと“2倍”の早送り映像になり、“FWD x2”マークが数秒表示されます。さらに押すと“4倍”“8倍”“16倍”の早送り映像になりマークも、送りの早さと共に“FWD x4”、“FWD x8”、“FWD x16”と変化します。

〔検索 早戻し再生〕【◀◀】ボタンを押すと“2倍”の早戻し映像になり、“REW x2”マークが数秒表示されます。さらに押すと“4倍”“8倍”“16倍”の早戻し映像になりマークも、戻す早さと共に“REW x4”、“REW x8”、“REW x16”と変化します

〔検索再生 停止〕

【STOP】ボタンを押すと停止します。

映像は選択した時間のデータのみを繰り返し画面に映し出します

イベントからの検索方法

『検索リスト上のイベント(または両方)』を選択すると、イベント検索が表示されます。[検索再生]



*アラーム→センサー反応したイベントファイルを検索します。

*モーション→: モーション反応したイベントファイルを検索します。

※モーション録画で録画されたファイルをTVで再生する場合、誤反応として録画された可能性のあるファイルはTVでは再生されません。ただしPC上ではファイルが記録されているのでSDカードをPCで再生することで内容を確認することができます。

*常時→すべての録画記録を検索します。

*時間(予定の時間)→指定された時間のファイルを検索します。

→ “アラーム”、“常時”、“モーション”の個々の検索方法と複数の組合せによる検索方法が選べます

【◀ / ▶】ボタンで “アラーム”、“常時”、“モーション”のどれを表示するか選択します。

(例1) “モーション”=“モーション”でのみ録画したデータ

(例2) “アラーム”、“モーション”=“アラーム”、“モーション両方の条件を満たし録画したデータ

→ 検索方法が決まったら【ENT】押す。→【▼】ボタンでカーソルを下の“SEARCH”に移動

→【ENT】を押す。録画された時間一覧が画面に出ます。→ 時間帯を選択して【ENT】を押す。再生されます

(検索方法の条件を満たす録画データがない場合、記録は出ません。)

時間からの検索方法

『検索リスト上の時間』を選択すると、時間検索が表示されます。[検索再生]



→【ENT】で決定 →【◀ / ▶】ボタンで項目を“時間”に設定 →【ENT】で決定

→カーソルが“SEARCH METHOD”に戻ったら【▼】ボタンでカーソルを下の時間帯移動させます。

→【ENT】で決定 →【▲ / ▼】ボタンで“年”を設定 →【ENT】で決定又は【▶】ボタンでカーソル移動

→【ENT】で決定 →以下同様に“月”“日”“時間”まで設定したら →【ENT】で決定

- カーソルが“年”“月”“日”“時間”全てを選択 → 【▼】ボタンでカーソルを下の“SEARCH”に移動 → 【ENT】で決定 → 記録された年月日時間、録画の種類が表示されます。
- 再生したい時間帯で【ENT】を押すと再生が始まります。

両方(イベントと時間)からの検索方法



『検索リスト上の両方』を選択すると、検索は時間とアラーム、時間とモーション、時間とモーションと常時のような複数の検索ができます。

(なし)からの検索方法



SDカードに保存されているすべてのデータを検索します。

録画再生の画面



9 録画時間目安表

録画時間目安表

4CIF (704x480 / D1)

メモリー	有効メモリー	高い(4CIF/30フレーム/秒)	普通(4CIF/30フレーム/秒)	低い(4CIF/30フレーム/秒)
512MB	480MB	33分	47分	1時間26分
1GB	960MB	1時間9分	1時間40分	3時間0分
2GB	1.9GB	2時間22分	3時間26分	6時間10分
4GB	3.8GB	4時間49分	6時間57分	12時間29分
8GB	7.4GB	9時間32分	13時間46分	24時間44分

2CIF (704x240)

メモリー	有効メモリー	高い(2CIF/30フレーム/秒)	普通(2CIF/30フレーム/秒)	低い(2CIF/30フレーム/秒)
512MB	480MB	40分	58分	1時間42分
1GB	960MB	1時間25分	2時間1分	3時間34分
2GB	1.9GB	2時間55分	4時間10分	7時間20分
4GB	3.8GB	5時間54分	8時間27分	14時間51分
8GB	7.4GB	11時間42分	16時間44分	29時間25分

CIF (352x240)

メモリー	有効メモリー	高い(1CIF/30フレーム/秒)	普通(1CIF/30フレーム/秒)	低い(1CIF/30フレーム/秒)
512MB	480MB	47分	1時間14分	2時間6分
1GB	960MB	1時間40分	2時間35分	4時間24分
2GB	1.9GB	3時間26分	5時間19分	9時間3分
4GB	3.8GB	6時間57分	10時間46分	18時間20分
8GB	7.4GB	13時間46分	21時間20分	36時間18分

SDカード→Trancend: 録画時間はSDカードのメーカーによって違いがあります。

1. 実際のカメラの撮影条件によって録画時間は大幅に変わります。
2. 表記録画時間は、30コマ/秒の録画設定で記録した場合の時間です。コマ数/秒の設定に反比例して録画時間は延長します。(例えば5コマ/秒の録画設定では録画時間が6倍となります。)
3. 表記録画時間は常時連続録画にした場合の録画データ保存時間であり、モーション録画、アラーム録画、スケジュール録画の設定で録画をする場合は、トータルの録画保存時間となります。(最大2000ファイル)
4. SDカードのメーカーによっては互換性のないタイプがあります。(推奨Trancend)

SDカードに記録可能なファイル数は2000ファイルまでです。

2000ファイル以上になるとSDカードに空き容量があっても録画が停止します。(上書きOFFの場合)

ただし、上書きONになっている場合はSDカードに空きがあってもそこから上書きしますが2000ファイルより多くはファイルしません。

テレビやエアコンなどの各種赤外線リモコンで反応することがありますので、リモコンで各種設定が終わったらリモコン受光部を光透過しない厚手の粘着テープなどでふさぐことをお勧めします。誤って赤外線が反応し、設定画面を呼び出しているときは録画しません。

TROUBLE SHOOTING 故障かな?と思ったら

1. 本機に接続する警報装置はどんな警報装置を買わなければなりませんか。
DC電源を動力とするものであれば、ほとんどの警報装置と互換性をもちます。
2. カメラが映りません
電源がオンであることを確かめてください。本体背面パネルのPOWER LED が点灯しているか確かめてください。点灯してなければ電源ケーブルが正確に接続されていない可能性があります。また接続しているケーブル類が正確に接続されているかも確認してください。
3. 画面にブルー・スクリーンだけ映る。
本体の映像出力のケーブル、コネクタ等の接続部をチェックしてください。これらの接続に関して問題を見つけることができない場合は、カメラ電源ケーブルがしっかり接続されているかチェックしてください。
4. メニュー・ボタンを押してもメニュー画面が開きません。
本体が録画中は、メニュー画面は開きません。録画を停止してから操作を行ってください。
手動録画(画面右下に **E** マーク)を終了するためには、再度【RECORD】ボタンを押してください。 **E** マークが消えたら録画は停止です。
MOTION録画(画面右下に **M** マーク)を終了するためには、再度【RECORD】ボタンを押して、 **E** マークを一旦表示してから、再度【RECORD】ボタンを押して、画面右下より **E** マーク、 **M** マーク両方を消してください。 **E** マーク、 **M** マーク共消えたら録画は停止です。
7. 画面に、SDエラーメッセージがでる。
画面に“SD Memory Check Fail”、“SD BUSY Error”、“SD Error”、“SD initial is Error”のエラーメッセージが出る場合、SDカードをPC上で再フォーマットをし直すか、それでもまだエラーメッセージが出るなら、SDメモリを交換してください。またSDカードのロックが外れているかも確かめてください。SDカードがロック状態のときは、画面に“SD CARD LOCKED ”が出て 本体 背面パネルの“REC” のLEDが点滅します。
8. 録画されていない。
イベント録画の場合、イベント設定内の各設定が“On”になっていますか、またイベント設定内のスケジュール設定をする場合、イベントの時間設定は合っていますか。
9. パソコンでSDカードに記録された映像データを見るには
SDカード上で使用されるファイル・フォーマットは、ウインドウズまたはLinuxを含むどんなPCオペレーティング・システムによっても支援されません。したがって、専用ソフトを使用せずPCで、SDカード内の映像を見ることはできません。専用ソフトのビューアーをインストールして映像を見てください。

製品保証書

保証書は、お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間は、お買い求めの日から1年間です。

万一故障が発生した場合は、保証期間中に、正常な使用状況で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理については、修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご希望により、有料で修理いたします。

お買い上げ日	年 月 日	
保障期間	お買い上げより1年間	
お客様	ご住所	
	ご氏名	
お買い上げ店	住所	
	店名	



販売元;株式会社NSK

〒461-0004名古屋市東区葵1-16-28 TEL052-935-6833 FAX052-935-6835

東京営業所: NSKタスク株式会社

〒132-0035東京都江戸川区平井4-5-8 NSビル201 TEL03-3638-9051